

使用上の注意改訂のお知らせ

スルホニルウレア系経口血糖降下剤
 日本薬局方 グリメピリド錠
グリメピリド錠 0.5mg 「日医工」
グリメピリド錠 1mg 「日医工」
グリメピリド錠 3mg 「日医工」

スルホニルウレア系経口血糖降下剤
グリメピリド OD 錠 0.5mg 「日医工」
グリメピリド OD 錠 1mg 「日医工」
グリメピリド OD 錠 3mg 「日医工」
 グリメピリド口腔内崩壊錠

製造販売元 日 医 工 株 式 会 社
 富山市総曲輪 1 丁目 6 番 21

この度、上記製品につきまして「使用上の注意」の一部を改訂（下線部分）いたしましたので、お知らせ申し上げます。

なお、改訂添付文書を封入した製品がお手元に届くまでには若干の日数が必要ですので、今後のご使用に際しましては下記内容をご高覧くださいますようお願い申し上げます。

<改訂内容> (_____ : 自主改訂)

改 訂 後	現 行																				
<p>3. 相互作用 本剤は、主に肝代謝酵素 CYP2C9 により代謝される。 併用注意（併用に注意すること） (1) 血糖降下作用を増強する薬剤 1) 臨床症状 血糖降下作用の増強による低血糖症状（脱力感、高度の空腹感、発汗、動悸、振戦、頭痛、知覚異常、不安、興奮、神経過敏、集中力低下、精神障害、意識障害、痙攣等）が起こることがある。 2) 措置方法 併用する場合には、血糖値その他患者の状態を十分観察し、必要に応じて本剤又は併用薬剤の投与量を調節するなど慎重に投与すること。特にβ-遮断剤と併用する場合にはプロプラノロール等の非選択性薬剤は避けることが望ましい。低血糖症状が認められた場合には通常はショ糖を投与し、α-グルコシダーゼ阻害剤（アカルボース、ボグリボース等）との併用により低血糖症状が認められた場合にはブドウ糖を投与すること。 3) 薬剤名等：作用機序</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">薬剤名等</th> <th style="text-align: center;">作用機序</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(現行どおり)</td> </tr> <tr> <td>GLP-1 受容体作動薬 リラグルチド等</td> <td>インスリン分泌促進, グルカゴン分泌抑制</td> </tr> <tr> <td><u>SGLT2 阻害剤</u> <u>イブラグリフロジン L-</u> <u>プロリン,</u> <u>トホグリフロジン水和物</u> <u>等</u></td> <td><u>尿中へのブドウ糖排泄</u> <u>促進</u></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(現行どおり)</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	作用機序	(現行どおり)		GLP-1 受容体作動薬 リラグルチド等	インスリン分泌促進, グルカゴン分泌抑制	<u>SGLT2 阻害剤</u> <u>イブラグリフロジン L-</u> <u>プロリン,</u> <u>トホグリフロジン水和物</u> <u>等</u>	<u>尿中へのブドウ糖排泄</u> <u>促進</u>	(現行どおり)		<p>3. 相互作用 本剤は、主に肝代謝酵素 CYP2C9 により代謝される。 併用注意（併用に注意すること） (1) 血糖降下作用を増強する薬剤 1) 臨床症状 血糖降下作用の増強による低血糖症状（脱力感、高度の空腹感、発汗、動悸、振戦、頭痛、知覚異常、不安、興奮、神経過敏、集中力低下、精神障害、意識障害、痙攣等）が起こることがある。 2) 措置方法 併用する場合には、血糖値その他患者の状態を十分観察し、必要に応じて本剤又は併用薬剤の投与量を調節するなど慎重に投与すること。特にβ-遮断剤と併用する場合にはプロプラノロール等の非選択性薬剤は避けることが望ましい。低血糖症状が認められた場合には通常はショ糖を投与し、α-グルコシダーゼ阻害剤（アカルボース、ボグリボース等）との併用により低血糖症状が認められた場合にはブドウ糖を投与すること。 3) 薬剤名等：作用機序</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">薬剤名等</th> <th style="text-align: center;">作用機序</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> <tr> <td>GLP-1 受容体作動薬 リラグルチド等</td> <td>インスリン分泌促進, グルカゴン分泌抑制</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">← 記載なし</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	作用機序	(略)		GLP-1 受容体作動薬 リラグルチド等	インスリン分泌促進, グルカゴン分泌抑制	← 記載なし		(略)	
薬剤名等	作用機序																				
(現行どおり)																					
GLP-1 受容体作動薬 リラグルチド等	インスリン分泌促進, グルカゴン分泌抑制																				
<u>SGLT2 阻害剤</u> <u>イブラグリフロジン L-</u> <u>プロリン,</u> <u>トホグリフロジン水和物</u> <u>等</u>	<u>尿中へのブドウ糖排泄</u> <u>促進</u>																				
(現行どおり)																					
薬剤名等	作用機序																				
(略)																					
GLP-1 受容体作動薬 リラグルチド等	インスリン分泌促進, グルカゴン分泌抑制																				
← 記載なし																					
(略)																					

*改訂内容につきましては DSU No.233 に掲載の予定です。

<改訂理由>

- ・新たな作用機序による血糖降下剤である SGLT2 阻害剤（イプラグリフロジン L-プロリン製剤（販売名「スーグラ錠」）、トホグリフロジン水和物製剤（販売名：「アプルウェイ錠」、「デベルザ錠」））などが発売されていることから、「相互作用」の「併用注意」の項に追記いたしました。

なお、改訂後の添付文書は日医工株式会社ホームページ

http://www.nichiiko.co.jp/medicine/medicine_m_seihin.html

及び医薬品医療機器情報提供ホームページ <http://www.info.pmda.go.jp/> に掲載いたします。